

## 共通機能



読み込んだ JWW データ、DXF データの縮尺が合っていないときの対処方法を教えてください。

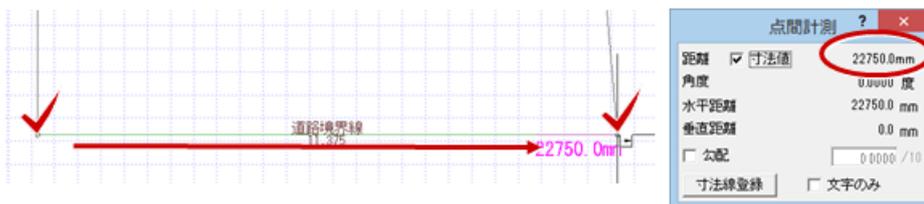


読み込んだデータで長さがわかっているところを計測し、その計測した数値をもとに、「変形」メニューの「伸縮」で伸縮します。

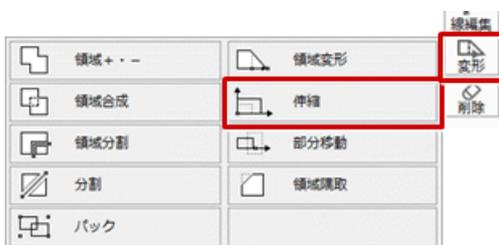
1 「情報」メニューから「線間計測」または「点間計測」を選びます。



2 寸法がわかっているところの距離の始点と終点をクリックします。計測した数値より実際の縮尺を算出します。



3 「変形」メニューから「伸縮」を選びます。



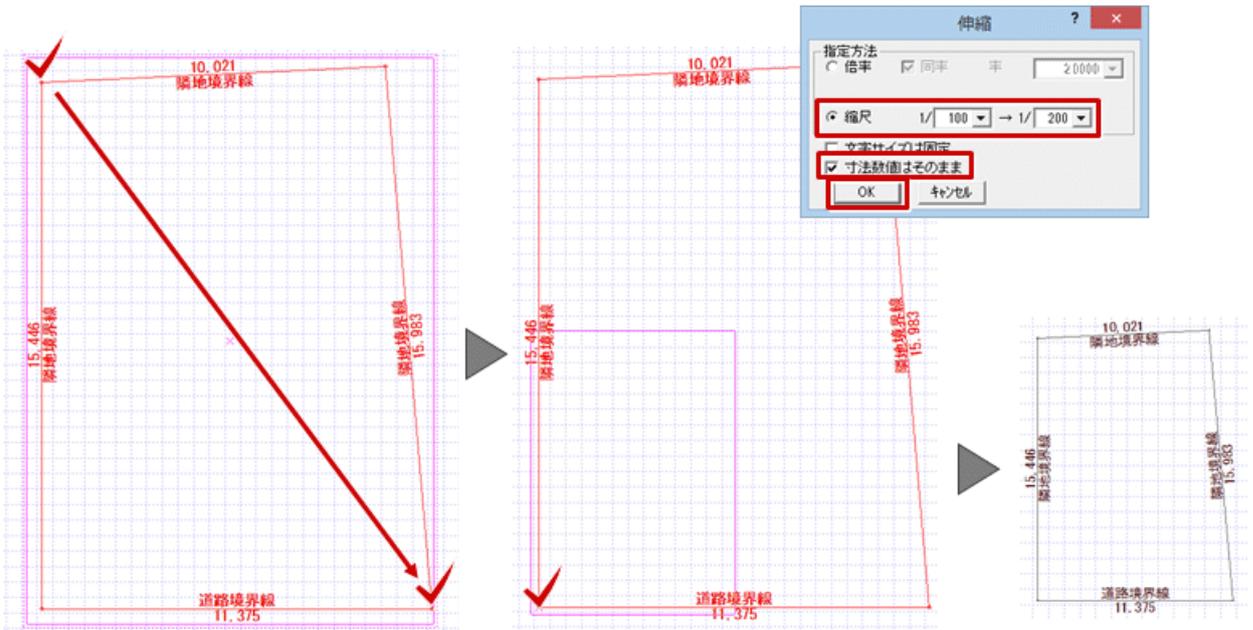
4 「伸縮」ダイアログの「数値指定」を ON にします。



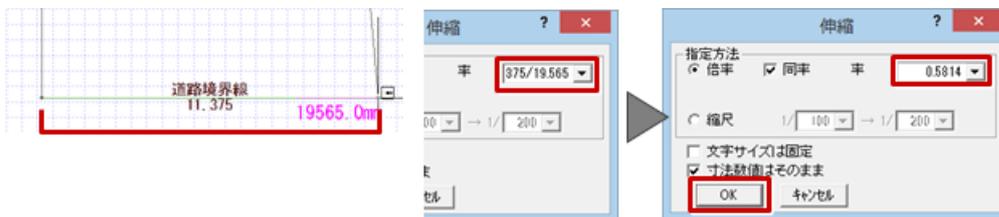
5 配置したデータを選択します。

6 伸縮する際の基準点をクリックします。

7 「伸縮」ダイアログで伸縮する方法を指定して、「OK」をクリックします。  
例えば、1/200 のデータを 1/100 で配置してしまったときは、「指定方法」の「縮尺」を ON にして「1/100」→「1/200」にします。  
寸法の数値が合っている場合は、「寸法数値はそのまま」を ON にします。



・「点間計測」で計測したときに縮尺が決まらない寸法の場合には、「伸縮」ダイアログの倍率を設定して縮尺を合わせます。





- JWW データを読み込むときには、JWW データの縮尺を確認できます。これをもとに「倍率」を変更できます。



- JWW データ、DXF データを読み込むときは、倍率は基本的に「1.0」、レイヤは「個別指定」もしくは「全てカレント」を指定してください。

